

平成28年度第2回平塚市文化財保護委員会 会議録

日 時

平成28年11月17日(木)
午後2時から午後3時30分まで

場 所

豊原分庁舎1号館 1階会議室

出席者 8人 [傍聴人 0人]

委 員：近藤委員長、吉田英里子副委員長、曾根委員、吉田(鋼)委員、片山委員

事務局：春原課長、菅沼課長代理、上原主管

挨拶

資料確認

1 報告事項

平成28年度の文化財保護事業について(資料1) 【公開】

(委員長)

それでは、平成28年度の文化財保護事業について事務局より説明願いたい。

【資料1に基づき、事務局より説明】

(委員長)

今、説明があった文化財保護事業での説明について、何か質問・意見はあるか。

(委員)

秋山博資料展(資料1 P4)は例年金目公民館だけで実施しているのか。盲人教育の資料として興味深く、できれば金目公民館だけでなく各公民館で巡回展も実施すれば良いのではないか。検討してほしい。

(委員長)

事務局で検討してもらえるのか

(事務局)

資料自体は金目エコミュージアムが整え所有しているので金目エコミュージアムの協力を得ることになる。金目エコミュージアムは活動を広げていきたいとの意向があり、巡回展として調整し検討する。

(委員長)

そのほかに質問・確認事項はないか。

(副委員長)

昭和女子大・光葉博物館での展示(資料1 P1)は昭和女子大でチラシ・ポスターや展示資料を作成しているのか。

(事務局)

資料作成は昭和女子大です。ただし、平塚市が入手している資料の部数は多くない。

(副委員長)

昭和女子大できちんと展示資料を作っているのですね。入場者の展示への反応や入場者数などの結果が出ると面白い。大学祭等で学生はある程度見られると思うが、きちんとした図録等があるというのは大学以外の見学者にとっては良いことである。昭和女子大の大谷津先生に一任しての展示なのか。

(事務局)

その通りである。大谷津先生には相模五座の指導もさせていただいている。

(委員長)

副委員長は第5回平塚市遺跡調査・研究発表会での講演はいかがでしたか。

(副委員長)

新発見の不動明王が調査され、新しく平塚市重要文化財の指定になったことを主として講演した。講演の依頼にあたっては、平塚には東川斎桂山の作品が多く残されており、それとの新指定文化財との関わりは何か。この作者の絵画とはどのようなモノか、今回指定重要文化財となった不動明王は新発見の文化財であること、この作品とは別にどのような絵画作品が重要文化財として指定されているのかなどを講演してくださいということであった。そこで、まず新指定の不動明王について、絵のスタイルから東川斎桂山の作品と認定できること。平塚で活躍していた時代の平塚の状況を説明したうえで、ほかにも新指定文化財である不動明王より古い作品が重要文化財として指定されているし、同じ江戸時代の絵画が指定されていることを講演した。考古学関係の研究発表会であったが、皆さん熱心に聞いてくれた。年齢層は「文化財めぐり」などよりは若い方が多かった。

(委員長)

こういう企画はまだ何回か予定はあるのか。

(事務局)

遺跡発表会と講演は今後も毎年続けていく予定である。

(副委員長)

このような文化財資料紹介の機会があるのは良いと思う。

(委員長)

このようなことを続けてもらいたい。

文化財に関する啓発について曾根先生とも話をしたのだが、10年ほど前に実施した文化財ボランティアの養成講座は、それ以降の情報が更新されなくて今までに至っている。文化財ボランティアへこのような講義を受講してもらい知識を柔軟に入れていって、新しい学術情報で発展的に活動することを検討して頂けないか。これからも文化財ボランティアを続けるならば再教育と新しい情報提供は必要である。このような講座はいい機会である。事務局でやりやすい形で検討してほしい。自分たちで長く研究していると知識が固まってしまい、新しいことを受け入れなくなってしまう。

現在、文化財ボランティアは何人いるのか。

(事務局)

約30人ぐらいである。

(委員)

今までお話しいただいたようにこれまでのボランティア養成講座の学習成果をより発展的にとらえるにはどうしたらよいか。地域で文化財を紹介するためには新しい情報が必要である。

(委員長)

他には何かあるか。ではわたくしから5Pの大磯の別荘地の文化講座が開催されることと、8Pの文化財めぐりに関連して、大磯では別荘の町として11月に大磯町郷土資料館がリニューアルした。わたくしは郷土資料館の運営委員会にも携わった。郷土資料館にも是非足を運んでほしい。

2 協議事項

平成28年度・29年度の文化財指定等について 【非公開】

3 その他 【公開】

(委員長)

事務局から議題3その他について何かあるか。

(事務局)

今回は3月を予定している。委員の皆様で御都合が悪い日がございましたらお教えください。後日でも結構です。

(委員長)

事務局で早めに決めていただければありがたい。

(事務局)

では今後日程の調整をさせていただく。

本日は貴重なご意見をありがとうございました。課題は持ち帰り検討します。

以上